

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 特集 ごみダイエット作戦—Let'sリサイクル
- 8 平成25年度 決算
- 12 市政懇談会開催報告
- 15 平泉ナンバー交付開始記念出張交換会を開催します
姉妹都市 掛川だより
- 16 I L C 希望のひかり
- 17 市政ズームイン
- 18 まちの話題
- 20 夢トーク
青春讃歌
- 21 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう縦横」
- 22 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 23 子そだて広場
子そだて行事予定
- 24 情報あらかると
- 28 奥州遺産

キラリ輝く
奥州人

心の支えになる音楽
演奏する側にも感動がある

菅原道明さん(57歳)
|| 衣川区日向 ||



タクトを振りながら団員の演奏を丁寧に指導

秋の夕日が辺りを照らし始めるころ、金管楽器が奏でる鮮やかな音色が、旧白山小学校講堂に響き渡る。奥州ジュニア・ウインドアンサンブル運営委員長兼常任指揮者の菅原道明さんは、毎週土曜の練習で熱心に団員を指導。創立記念の演奏会を、ことし5月に行った同団は、11月に第1回定期コンサートを控える。

平成25年6月に設立されたばかりの同団。東日本大震災が立ち上げのきっかけで「辛いときや苦しいときに音楽は心の支えになる」と道明さん



すがわら・みちあき◎昭和32年、衣川区日向生まれ。地元を中心に活動するトロヴァトーレ・ウインド・オーケストラの団長。書道八段で、師範の指導も行う教授の資格を持つ。家族は妻と息子2人

は当時を振り返る。

現在、市内を中心に小学5年から中学3年までの28人が団員として所属。複数の学校から子どもたちが集まり、互いに刺激し合っている。「きちんと基本を覚えないと演奏技術は伸びない」と道明さんは揺るぎない思いで、子どもたちの指導に当たる。

「演奏する子どもたちが、自ら感動できるように全体のレベルアップを図りたい」と力を込める道明さん。音楽の力を胸に、これからもタクトを振り続ける。



〈今月の表紙〉

第1回胆江地区小学校陸上記録会奥州市大会(市小学校体育連盟主催)が9月24日、森山総合公園陸上競技場で開催されました。市内全27校から5、6年児童約2,100人が参加。父母などがスタンドを埋め尽くす中、学校ごとの応援を背に、自己ベスト更新を目指す選手たちの熱戦が繰り広げられました。

昨年までは、区ごとに開催されてきた小学校陸上記録会。ことしから市内全ての小学校が一同に会しての大会となり、緊張しながらも真剣な眼差しで奮闘する選手たちの姿が印象的でした。

—ごみの排出量を減らそう—

ごみダイエット作戦 Let'sリサイクル



岩手県3R推進キャラクター

なぜごみを減らさなければいけないの!?



私たちが生活する上で、必ず「ごみ」(廃棄物)は発生します。市は、市民の皆さんのご協力をいただきながらごみ減量化に向けた取り組みを進めていますが、市全体の量は減っていないのが現状です。各家庭におけるごみの排出を見直し、ごみの減量化に向けたリサイクルなどを積極的に取り組みましょう。

■問い合わせ||市生活環境課生活衛生係(内線215)

ごみの減量は、全国の自治体共通の課題です。本市においても、増加傾向にある「家庭ごみ」の減量が喫緊の課題となっております。

ごみを焼却処理しても最終的に焼却灰が発生し、それを埋立する最終処分場が必要になります。最終処分場は、水資源や土壌などを汚染しないよう十分に配慮しながら特別な構造基準で設置。そのため設置には膨大な費用がかかります。

落ち葉が20年、繊維が50年で土になるのに対し、プラスチック製品は、分解に数千年かかるといわれています。環境破壊を抑えるごみの減量。よりよい生活環境を次世代へ



残すためには排出量そのものを減らす取り組みが必要になります。ごみを減らすことで、次のような効果が得られます。

- ▼環境への負荷を減らせる
- ▼収集運搬・処理の費用を減らせる
- ▼焼却施設の摩耗を抑えられる
- ▼最終処分場の寿命を延ばせる
- ▼焼却施設、最終処分場の建設費用を抑えられる

ごみの減量は、自然環境を守ることはもちろん、皆さんの税金で賄われる処理費用を抑えることにもつながります。